学校番号	117

令和３年度　芸術科

教科	音楽	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」　（教育芸術社）						
副教材等	The Base of Music（教育芸術社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を作ること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間を通して学習します。

音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて試してみてこそ価値のあるものとなり、そうして感性が豊かになります。

音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	歌唱	校歌 翼をください ありがとう	○		○		a:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための正しい発声法を身に付け、歌唱の技術を身につけている。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ソルフェージュ	Base of Music			○	○		
	リズムアンサンブルを楽しもう	クラッピングカルテット第 1 番	○	○	○	○	a:アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その動きを感受しながら、どのように音楽を作るかについて表現意図を持っている。 C:リズム譜を読譜できるようになり、表現したいことを伝える。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	表現を工夫しながらリコーダーを演奏しよう	C-a-f-f-e-e / Alleluia /	○		○	○	a:リコーダーの音色や奏法の特徴をいかして取り組もうとしている。 b:リズム、旋律、強弱など音楽を形作っている要素の変化とその持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけようとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2	表現を工夫して合唱をしよう ソルフェージュ	ふるさと 少年時代 夢見たものは 荒野の果てに	○	○	○	○	a:一人ひとりが主体的、積極的に歌い、各声部のかかわりや各パートの役割を意識しイメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための正しい発声法を身に付け、歌唱の技術を身につけている。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	表現を工夫しながらリコーダーを演奏しよう	ディズニーメドレー	○	○	○	○	a:リコーダーの音色や奏法の特徴をいかして取り組もうとしている。 b:リズム、旋律、強弱など音楽を形作っている要素の変化とその持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけようとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3	**表現を工夫しながら重唱や合唱をしよう**	Amazaing Grace	○	○	○	○	a：各声部のかかわりや，音の重なり，全体の調和 b：一人一人が主体的，積極的に歌い，各声部のかかわりやハーモニーを意識して，アンサンブルの喜びを味わう c：楽曲にふさわしい表現の工夫 d：共通のイメージをもちながら，楽曲にふさわしい表現を心がける	観察 ワークシート 演奏の聴取
	文化的・歴史的背景を理解して，日本の伝統音楽やオペラを鑑賞しよう		○		○	○	a：声や楽器の音色の特徴と表現の効果との関わりに関心をもつ。 b：演奏者による違いなどについて，鑑賞した後に批評文を書いたり，感想を述べ合ったりする c：物語の情景や登場人物の心情について，どのような声や楽器の音色で表現しているかなどについて比較しながら鑑賞する d：文化的・歴史的背景など総合的に特徴を理解する。また，我が国の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解する。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。